

2006年度(2007年3月期)
中間決算説明資料

2006年11月9日
株式会社 商船三井

目次

2006年度 中間決算の要点	2
2006年度 中間決算概要	4
連結セグメント情報	5
連結 売上高・経常利益 前年同期比増減要因分析	6
2006年度 業績予想の要点	7
2006年度 通期見通し	8
連結 セグメント別通期見通し	9
[補足資料]	
連結営業外・特利損／単体運航費	11
主要コンテナ船航路消席状況・見通し	12
自動車輸送台数	13
MOL STEP Review 利益目標	14
セグメント別経常利益	15
MOL STEP Review 船隊整備計画	16
キャッシュフロー 設備投資	17
MOL SETP Review 財務目標	18
コスト削減計画	19

2006年度中間決算の要点

➤ 概況

- ・ 円安 (+¥7.22/\$) < 燃料油価格高騰 (+\$87/MT)
 - ・ 不定期専用船事業 増益 (← 旺盛な荷動きを拡大する船隊で取り込み、「安定利益」が高いレベルで収益を下支え)
 < コンテナ船事業 損益悪化 (← 運賃低下・コストアップ)
- ⇒ 前年同期比 増収減益。
- ・ 高いレベルの利益を確保 (最高益の前年同期に次ぐ)。
 - ・ 対1Q時点損益見通し比で改善 (主に不定期専用船事業)。

➤ セグメント別

コンテナ船事業 : 対前年同期比大幅減益。対1Q時点見通し比、若干の未達。

運賃: 北米航路=5月S/C交渉、平均運賃低下で決着。

欧州航路、南米・アフリカ航路=それぞれ4月/7月、6月/8月交渉で底打ち・反転。但し、なお前年同期レベルに届かず。

積取り: 前年同期比大幅増。高い消席率を維持。

コスト: 内陸輸送費用等が上昇。

不定期専用船事業：対前年同期比増益。1Q時点見通し比改善。

【自動車船部門】

積取り、前年同期比大幅増 ⇒ 増益

【ドライバルク部門】

前期の有利契約終了。前半市況低迷。

⇔ 新造船竣工により船隊拡大・コスト低下。後半市況改善。

⇒ 減益幅、1Q時点見通しより縮小

【油送船部門】

新造船竣工により船隊拡大。

市況＝原油船・プロダクト船とも堅調。前年同期を上回る水準で推移。}

⇒ 増益幅、1Q時点見通しより拡大

【LNG船部門】 運航効率化等 ⇒ 増益

その他4事業：対前年同期比微増益。ほぼ1Q時点見通し並み。

➤ 1株当たり9円の間配当を実施

2006年度 中間決算概要

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2006年度			2005年度	増減	'06/8/3	増減
		1Q実績	2Q実績	上期実績	上期実績		1Q決算時予想	
売上高	連結	3,706	3,889	7,595	6,364	+1,231	7,400	+195
	単体	2,927	3,056	5,983	5,013	+970	5,850	+133
営業利益	連結	317	412	730	953	△223	690	+40
	単体	200	275	475	728	△253	450	+25
経常利益	連結	354	431	785	985	△200	740	+45
	単体	253	279	531	711	△180	510	+21
当期純利益	連結	226	251	477	618	△141	460	+17
	単体	163	177	340	440	△100	320	+20

為替(期中平均)	¥115.46/\$	¥116.20/\$	¥115.83/\$	¥108.61/\$	+¥7.22/\$	¥112.73/\$	+¥3.10/\$
燃料単価(期中平均)	\$338/MT	\$340/MT	\$339/MT	\$252/MT	+\$87/MT	\$339/MT	+\$0/MT
				経常利益	△51億円	経常利益	+34億円
				(為替)	+159億円 x1/2	(為替)	+68億円 x1/2
				(燃料単価)	△261億円 x1/2	(燃料単価)	+0億円 x1/2

(参考)

為替Sensitivity	年間 (2006年度)	±22.0億円/1¥	(最大)
燃料単価Sensitivity	年間 (2006年度)	±3.0億円/1\$	(最大)
(連結経常損益ベース)			

連結セグメント情報

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2006年度			2005年度 上期実績	増減	'06/8/3 1Q決算時予想	増減
		1Q実績	2Q実績	上期実績				
コンテナ船事業	売上高	1,328	1,448	2,776	2,180	+596	2,800	△24
	経常利益	△ 20	11	△ 10	313	△323	0	△10
不定期専用船事業	売上高	1,856	1,890	3,746	3,170	+576	3,550	+196
	経常利益	318	389	707	631	+76	640	+67
ロジスティクス事業	売上高	138	137	275	296	△22	280	△5
	経常利益	4	4	7	6	+1	7	+0
フェリー・内航事業	売上高	120	139	258	246	+13	260	△2
	経常利益	△ 4	7	3	4	△1	6	△3
関連事業	売上高	249	253	502	442	+61	485	+17
	経常利益	35	30	65	64	+0	63	+2
その他事業	売上高	16	22	38	30	+7	25	+13
	経常利益	10	7	17	11	+6	14	+3
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	12	△ 16	△ 4	△ 46	+42	10	△14
連結	売上高	3,706	3,889	7,595	6,364	+1,231	7,400	+195
	経常利益	354	431	785	985	△200	740	+45

*「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

連結 売上高・経常利益 前年同期比増減要因分析

●売上高	(内 単体; 億円)	【億円未満切捨て】
円安	+433億円	(+361)
積取り増・運賃上昇	+578億円	(+538)
その他	+221億円	(+71)
(合計)	+1,231億円	(+970)
●経常利益	(内 単体; 億円)	
円安	+79億円	(+72) (当期¥115.83/\$; ¥7.22/\$の円安)
燃料油価格上昇	△131億円	(△87) (当期\$339/MT; \$87/MT上昇)
積取り・運賃変動等	△244億円	(△291)
コスト削減	+72億円	(+63)
持分法投資損益	△25億円	(0)
その他 (消去又は全社含む)	+48億円	(+62)
(差し引き)	△200億円	(△180)

2006年度 通期業績予想の要点

➤ 通期業績予想を上方修正

	予算(5月)	1Q時点	中間決算時点(*)	cf. 2005年度実績
経常利益	1,600億円	→ 1,550億円	→ 1,750億円	1,765億円
当期純利益	1,050億円	→ 1,000億円	→ 1,120億円	1,137億円
(*)前提(下期):	燃料油価格 \$300/MT (cf. 1Q時点\$340/MT)			
	為替	¥113/\$	(cf. “ ¥110/\$)	

➤ セグメント別 (数字は経常利益)

コンテナ船事業：対前期比減益。1Q時点見通し比+20億円。

- ← ・ 燃料油価格低下
- ・ 運賃修復努力(欧州10月/1月)・コスト削減努力を継続

不定期専用船事業：対前期比増益。1Q時点見通し比+200億円。

- ← 【自動車船部門】荷動き引き続き好調
- 【ドライバルク部門】船隊拡大、バランスの取れた契約ポートフォリオ
→ 損益確定進捗の一方で、好市況を享受
- 【油送船部門】上期好調 (下期市況も堅調を見込むが、足元の低市況を一部織り込み。)

➤ 配当： 1株当たり18円(中間9円/期末9円)を予定。(5月・8月発表の通り) 7

2006年度通期見通し

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2006年度			2005年度 通期	増減	'06/8/3 1Q決算時予想	増減
		上期実績	下期見込み	通期見通し				
売上高	連結	7,595	8,255	15,850	13,667	+2,183	14,800	+1,050
	単体	5,983	6,617	12,600	10,932	+1,668	11,700	+900
営業利益	連結	730	930	1,660	1,730	△70	1,460	+200
	単体	475	675	1,150	1,277	△127	1,000	+150
経常利益	連結	785	965	1,750	1,765	△15	1,550	+200
	単体	531	749	1,280	1,319	△39	1,130	+150
当期純利益	連結	477	643	1,120	1,137	△17	1,000	+120
	単体	340	460	800	787	+13	700	+100

為替(期中平均)	¥115.83/\$	¥113.00/\$	¥114.42/\$	¥112.29/\$	+¥2.12/\$	¥111.37/\$	+¥3.05/\$
燃料単価(期中平均)	\$339/MT	\$300/MT	\$320/MT	\$280/MT	+\$40/MT	\$340/MT	△\$20/MT
				経常利益	△72億円	経常利益	+127億円
				(為替)	+47億円	(為替)	+67億円
				(燃料単価)	△119億円	(燃料単価)	+60億円

(参考)

為替Sensitivity	年間 (2006年度)	±22.0億円/1¥	(最大)
燃料単価Sensitivity	年間 (2006年度)	±3.0億円/1\$	(最大)
(連結経常損益ベース)			

連結 セグメント別通期見通し

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		2006年度			2005年度 通期実績	増減	'06/8/3 1Q決算時予想	増減
		上期実績	下期見込み	通期見通し				
コンテナ船事業	売上高	2,776	2,924	5,700	4,882	+818	5,400	+300
	経常利益	△ 10	30	20	375	△355	0	+20
不定期専用船事業	売上高	3,746	4,254	8,000	6,763	+1,237	7,300	+700
	経常利益	707	863	1,570	1,353	+217	1,370	+200
ロジスティクス事業	売上高	275	285	560	637	△77	580	△20
	経常利益	7	11	18	21	△3	18	+0
フェリー・内航事業	売上高	258	252	510	468	+42	510	+0
	経常利益	3	0	3	△ 1	+4	3	+0
関連事業	売上高	502	518	1,020	875	+145	965	+55
	経常利益	65	59	124	125	△1	124	+0
その他事業	売上高	38	22	60	43	+17	45	+15
	経常利益	17	10	27	26	+1	25	+2
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△ 4	△ 8	△ 12	△ 134	+122	10	△22
連結	売上高	7,595	8,255	15,850	13,667	+2,183	14,800	+1,050
	経常利益	785	965	1,750	1,765	△15	1,550	+200

*「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

[補足資料]

連結 営業外・特利損／単体運航費

1. 連結 営業外収益・費用明細		(2006年度中間期)			(億円)
		(単体)			(単体)
営業外収益	150	(94)	営業外費用	95	(38)
うち:			うち:		
受取利息	15	(14)	支払利息	87	(20)
受取配当金	18	(60)	為替差損	-	(16)
持分法投資利益	62	-	その他営業外費用	8	(2)
為替差益	16	-			
その他営業外収益	38	(20)			

2. 連結 特別利益・損失明細		(2006年度中間期)			(億円)
		(単体)			(単体)
特別利益	49	(1)	特別損失	24	(2)
うち:			うち:		
船舶売却益	42	-	固定資産売却・除却損	2	(1)
投資証・関係会社株売却益	3	(1)	その他固定資産除売却損	1	(1)
その他固定資産売却益	1	-	その他特別損失	22	(1)
その他特別利益	1	-			

3. 単体 運航費明細

	2006年度中間	2005年度中間期
	(百万円)	
港費	35,926	28,943
貨物費計	102,217	77,524
内訳: 荷役費及び接続費	87,951	66,240
歩金仲介料	11,849	9,180
一般貨物費	2,417	2,104
燃料費	104,154	65,181
雑費	1,886	844
合計	244,182	172,492

主要コンテナ船航路 消席状況・見通し

(単位:1000TEU)

北米航路(アジア/北米)

		往航						復航					
		保有		稼働		消席率		保有		稼働		消席率	
2006年度	下期												
	上期	150	284	142	263	95%	92%	147	280	67	134	46%	48%
2005年度	下期	126	264	112	226	89%	86%	124	264	59	116	47%	44%
	上期	134	534	120	473	89%	89%	133	531	67	229	50%	43%
		134		120		89%	92%	133		67		50%	48%
		126		112		89%	86%	124		59		47%	44%
		138		115		83%	86%	140		57		41%	44%
		142		132		93%	91%	139		55		40%	42%
		129		115		89%	91%	129		59		46%	42%

欧州航路(アジア/欧州)

		往航						復航					
		保有		稼働		消席率		保有		稼働		消席率	
2006年度	下期												
	上期	117	217	113	207	97%	95%	108	203	56	113	52%	56%
2005年度	下期	89	185	84	170	94%	92%	89	177	58	116	65%	66%
	上期	100	354	94	333	94%	94%	96	346	57	233	59%	67%
		100		94		94%	95%	96		57		59%	56%
		89		84		94%	92%	89		58		65%	66%
		96		86		90%	92%	88		59		67%	66%
		84		80		96%	96%	84		58		69%	69%
		85		82		97%	96%	85		59		69%	69%

全航路計

		保有		稼働		消席率	
2006年度	下期						
	上期	1,018	1,914	757	1,422	74%	74%
2005年度	下期	817	1,658	601	1,202	74%	73%
	上期	896	3,143	665	2,351	74%	75%
		817		601		74%	73%
		841		601		72%	73%
		760		587		77%	77%
		726		561		77%	77%

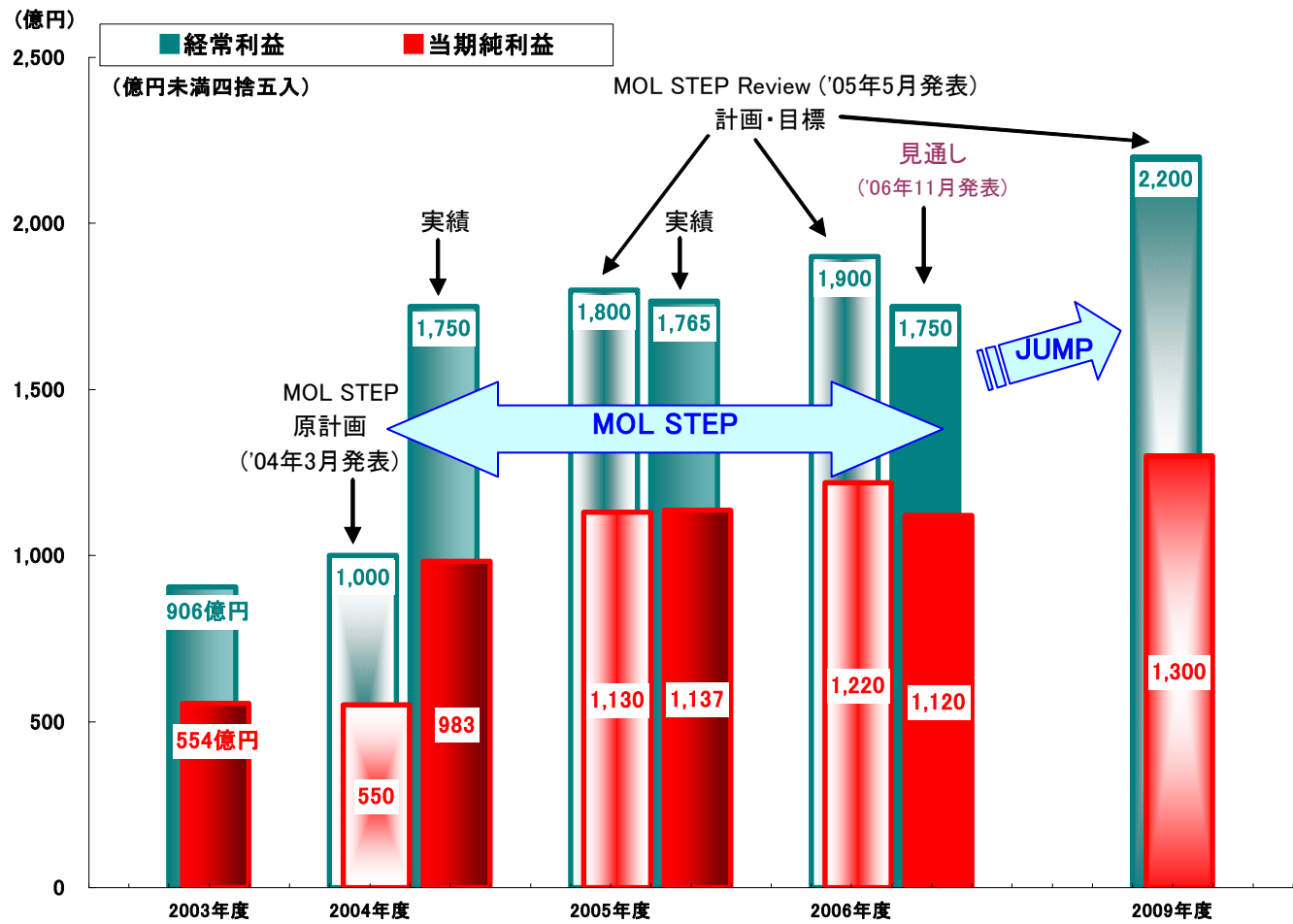
～2005年度上期 航海完了基準、WAYPORT貨物を含まない。
2005年度下期～ 複合輸送進行基準、WAYPORT貨物を含む。

自動車輸送台数

(1000台)

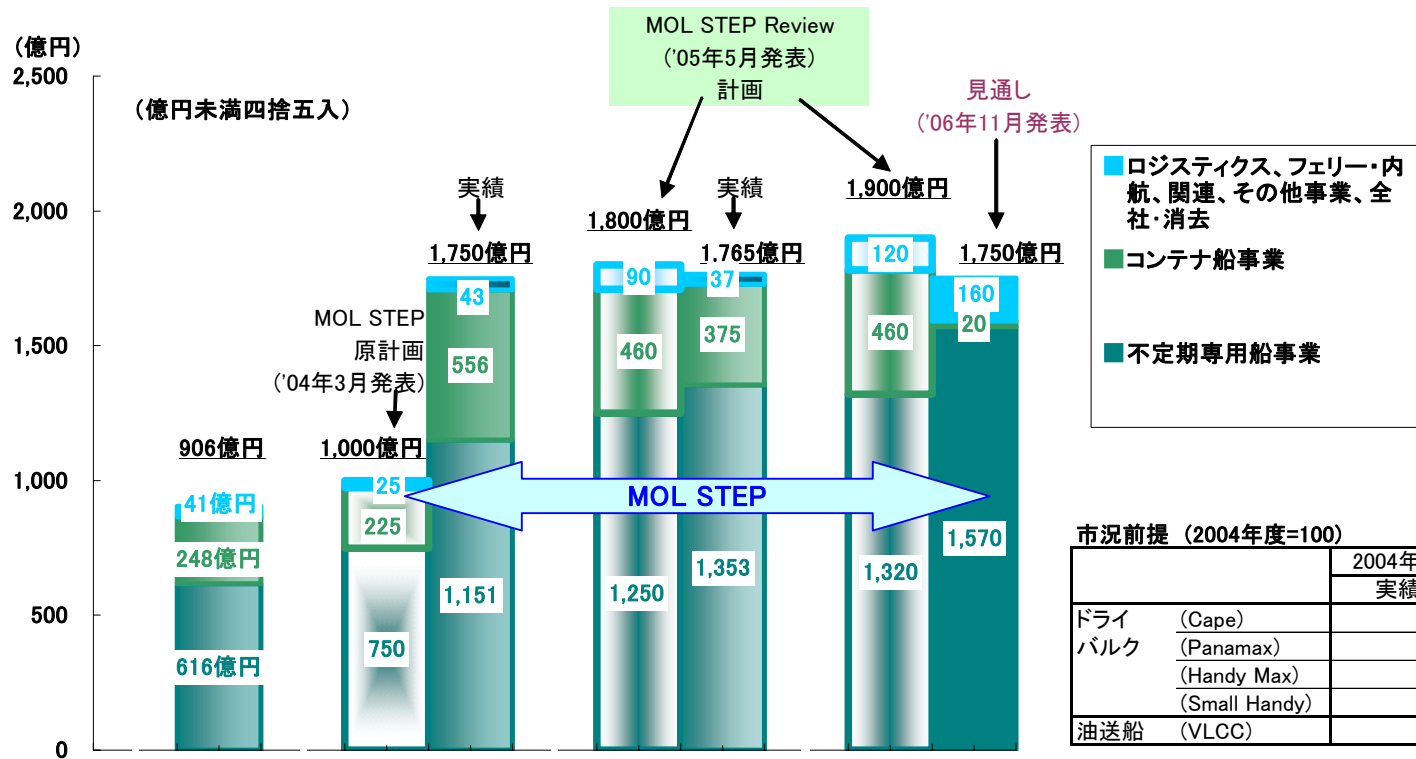
(完了ベース／航海傭船を含む)	2006年度					2005年度
			上期	下期	通期	通期 実績
	第1四半期	第2四半期	見通し(A)	見通し(B)	(A)+(B)	
合計	677	614	1,291	<i>1,319</i>	<i>2,610</i>	2,275

MOL STEP Review 利益目標



期中平均為替(¥/\$)	113.8	110(原計画)	107.75(実績)	105(計画)	112.29(実績)	100(前提)	114.42(前提)	100(前提)
平均ハンカ-価格(\$/MT)	178	150(原計画)	193(実績)	250(計画)	280(実績)	200(前提)	320(前提)	200(前提)
営業利益(億円)	921	1,050(原計画)	1,718(実績)	1,760(計画)	1,729(実績)	1,860(計画)	1,660(見通し)	2,150(目標)

セグメント別経常利益



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
期中平均為替(¥/\$)	113.84	110(原計画)/ 107.75(実績)	105(計画)/ 112.29(実績)	100(前提)/ 114.42(前提)
平均ハンカ-価格(\$/MT)	178	150(原計画)/ 193(実績)	250(計画)/ 280(実績)	200(前提)/ 320(前提)

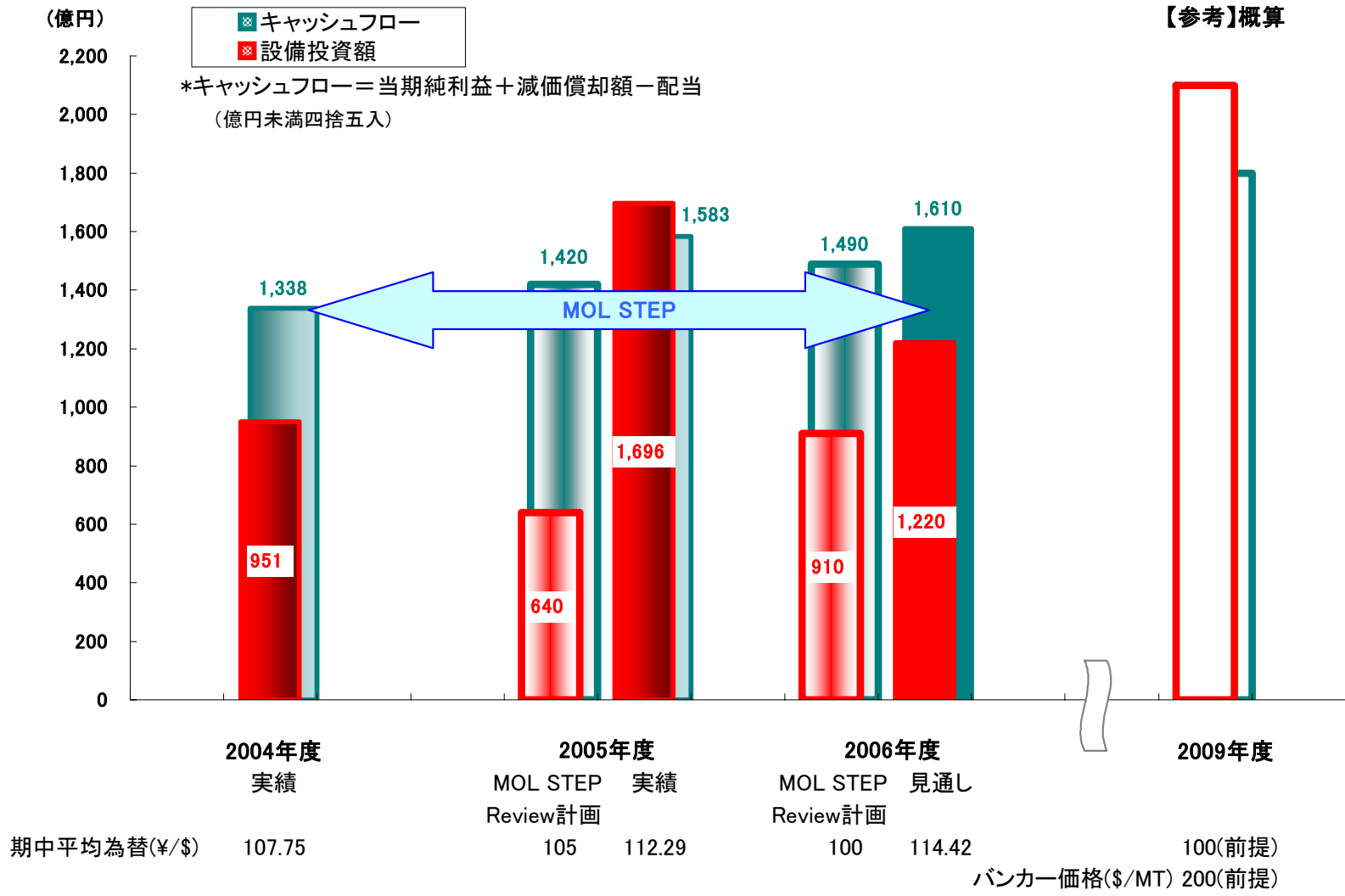
MOL STEP Review 船隊整備計画

		MOL STEP (2004-2006年度)						(2007-2009年度)	
		2003 年度末 隻数	新規投入	2004	2005	2006	2006 年度末 隻数 (計画)	新規投入	2009 年度末 隻数 (計画)
			2004-06 年度	年度末 隻数	年度末 隻数	9月末 隻数		2007-09 年度	
資源・エネルギー 輸送分野 (ドライバルク船 油送船・LNG船)	運航規模隻数	470	→	482	524	558	540	→	660
	新規投入隻数 計画 発注済み		123 123					112 111	
製品輸送 事業分野 (コンテナ船 自動車船)	運航規模隻数	175	→	181	204	210	210	→	240
	新規投入隻数 計画 発注済み		22 22					30 37	
合計	運航規模隻数	645	→	663	728	768	750	→	900
	新規投入隻数 計画 発注済み		145 145					142 148	

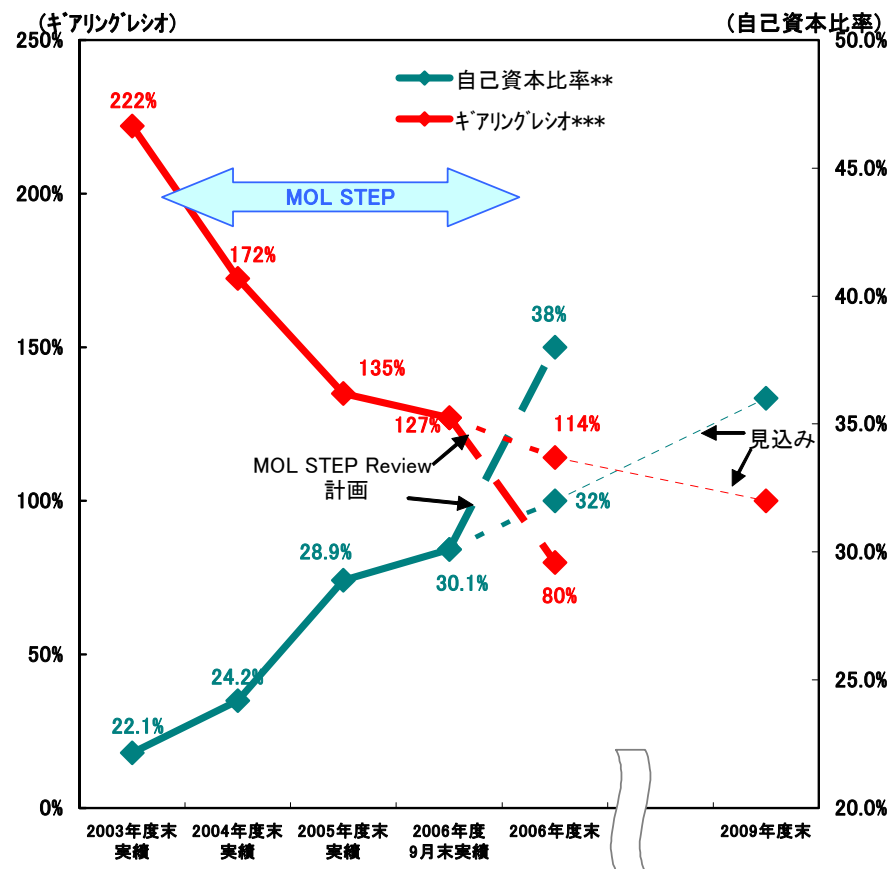
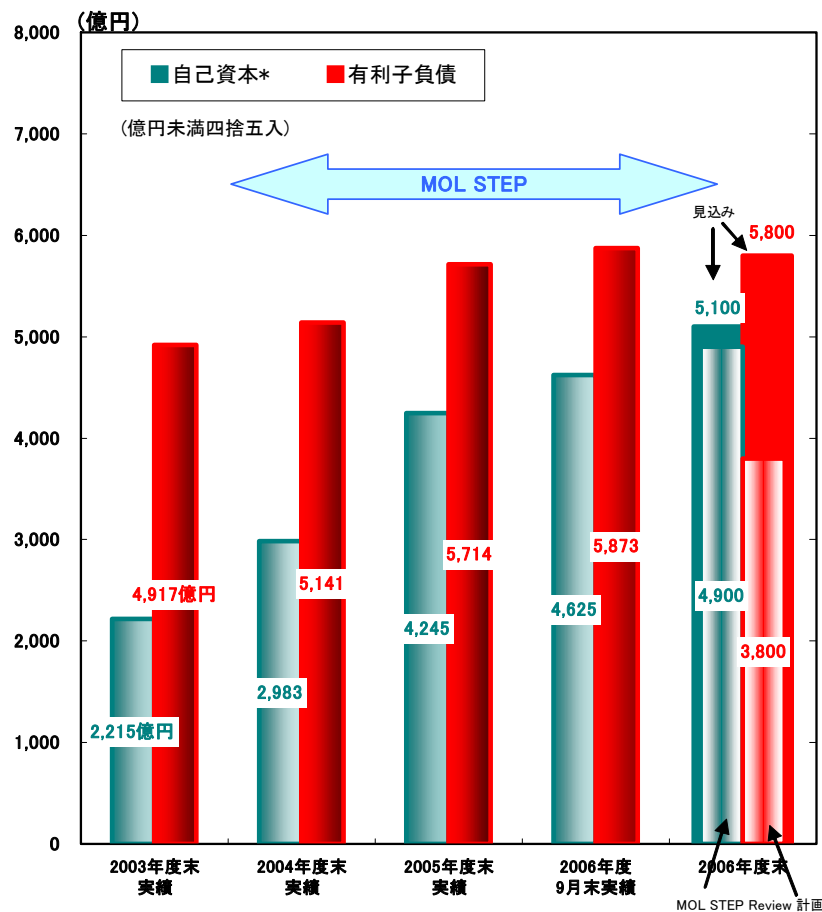
註1) 短期スポット傭船を含む。

註2) 連結子会社以外の当社出資会社が保有するLNG船、当社が50%の株式を保有する持分法適用会社の運航船を含む。

キャッシュフロー・設備投資



MOL STEP Review 財務目標



期末為替 105.69/ 107.13 107.39/ 104.21 117.47/ 118.07 117.90/ 115.24 113(前提)
 (¥/\$、本体/仕組船)
 * ~2005年度:株主資本=資本、2006年度~:自己資本=純資産-少数株主持分

** ~2005年度:株主資本(資本)÷総資産、2006年度~:自己資本(純資産-少数株主持分)÷総資産
 *** ~2005年度:有利子負債÷株主資本(資本)、2006年度~:有利子負債÷(純資産-少数株主持分)

コスト削減計画

(億円)

		2004年度 (実績)	2005年度 (実績)	2006年度 (見通し)	合計
営業部門主体 <small>(運航費、コンテナ経費等)</small>		55	45	80	180
		(40)	(20)	(20)	(80)
管理部門主体 <small>(船舶経費、一般管理費、運転利息等)</small>		40	40	60	140
		(25)	(40)	(25)	(90)
合計		95	85	140	320
		(65)	(60)	(45)	(170)
単体		80	65	120	265
		(55)	(55)	(40)	(150)
----- グループ会社		15	20	20	55
		(10)	(5)	(5)	(20)

()内はMOL STEP計画値(2004年度)またはMOL STEP Review計画値(2005・06年度、合計)